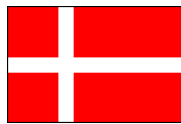




【 =ライオンズの誓い= われわれは知性を高め、友愛と相互理解の精神を養い、平和と自由を守り、社会奉仕に精進する 】



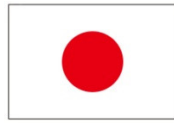
(Belgium)



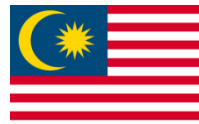
(Denmark)



(Germany)



(Japan)



(Malaysia)



(Singapore)



(Taiwan)



2016.07.19 07:59



(MD337 YCE 来日・派遣交換学生／福岡国際空港集合写真)

Youth Camps & Exchange

■ライオンズクラブ青少年交換&国際ユースキャンプ (2006年10月より一体化)

1962年、ライオンズクラブ国際協会の国際理事会は、ライオニズムの第一目的にそって、青少年交換の実施を決定しました。それは前年実施された、日本の神戸と米国カリフォルニア州、ネバダ州との夏期青少年交換に端を発しております。

このプログラムは青少年に外国の家庭を解放し、お客様ではなく、家族の一員として生活を体験することによって、その国の生活文化を学び、また自分の国の文化を紹介する機会を与えています。また、国際ユース・キャンプにおいては、いろいろな国の青少年と数週間、生活を共にする期間を含んでいます。

毎年度、地区ホームページに夏・冬派遣の応募要項（参加申込み含む）掲載。

鹿児島R. 夏期派遣学生帰国レポート



派遣国 マレーシア

『さよなら茶畑山』

YCE派遣学生 田原 知佳
(スポンサーC/鹿児島さつまLC)

8月1日から8月16日まで、鹿児島さつまライオンズクラブ様のご支援のもと、マレーシアに行かせていただいた。そこで、私はたくさんの感動を目にすることになる。

ここは日本ではないのだから当たり前なのかもしれないが、海外の街並みというのは建物はもちろんのこと、道路でさえ違って感じるものだ。少しでも「あ、これすごい。なにこれ。」と思うものは全て写真に収めた。目にするもの、耳にするもの、匂うもの、口にするもの全てが新鮮で感動がいっぱいだった。おかげで帰る頃には、わたしの写真フォルダーは何十回スライドしても見きれないほど大量の思い出がつまっていた。

2週間のあいだ1つ年上の日本人と、茶畑の山奥にあるひっそりとした街、キャメロンハイランドに泊まらせていただいた。彼女は外大でインドネシア語を勉強していて、おしゃべりで世話好きで、優しくて頼りがいのある人だった。密かに私は彼女のことを「お母さん」と呼んでいた。私もお母さんに負けじと異文化を理解してマレーシアの全てを吸収しきって帰ろうと決心していたので、何でもできることは挑戦してみた。

特に挑戦したことは、食べ物である。中国料理、インド料理、マレーシア料理と三種類の料理を楽しむことができた。

「try some!」

そう言って私たちの前に出された食べ物は、甘いのか、しょっぱいのか、辛いのかもわからないものばかりだった。日本の食べ物より香りを強く感じた。私はもともと辛い食べ物が大好きだったので、スパイスをきかせた料理が本当に美味しく感じた。その結果、スパイシーガールというあだ名を1日目にして獲得することができた。



何と言っても1番に感動したのは、バナナリーフのお皿で右手だけで食べたこと。慣れなくて少し食べづらかったけれど、いつもより、味、食感、匂いを強く感じることもできた。いい経験になった。

街のみんなが知り合いというほど、仲が良くて心温かい人たちばかりであった。英語があまり話せなかったのだが、表情と少しの言語、そしてジェスチャーで何とかあった。ただ、もっと英語が話せていたら、もっと楽しかっただろうと、もどかしさが残った。

忙しいのに色々なところに連れて行ってくれて、一緒に興味津々で歩いてくれて、色々教えてくれて本当に素敵なホストファミリーと出会うことができた。今でも山を見れば茶畑の山を思い出すし、辛いものを食べればミーゴレン



を思い出す。そしてこれから先もかけがえのない思い出としてずっと忘れないだろう。こうした素晴らしい経験ができたのはライオンズクラブの方々のご支援があったからこそと、本当に感謝が尽きない。そして、お世話になったホストファミリー、レオライオンズクラブの皆さん、日本のライオンズクラブの皆さん、誘っていただいた、たすけあい協会の田口様、お父さん、お母さん、本当に感謝している。ありがとうございます。今度マレーシアに行くときは、もっと英語を上手に話せるように鍛えておこうと思う。

(原文記載)



派遣国 マレーシア

『 留学経験を生かして 』

YCE派遣学生 藤原 辰之輔
(スポンサーC/沖縄 LC)

僕はこの夏休み、交換留学生としてマレーシアに、一カ月間留学に行ってきました。

マレーシアは、多国籍国家で、マレーシア人、インド人、中国人 と主にこの3つ国の人がくらしていました。

僕のホームステイ先は、キャメロンハイランドという所で、朝晩は沖縄の冬と同じくらい寒かったです。ホストファミリーは中国人の5人家族で、父さん以外は女だったため、お父さんはすごく喜んでいました。

マレーシアで食べたご飯の中で1番美味しかったのは、僕のホストファザーが経営している、レストランの1番の料理の、スティンブー（シャブシャブ）でした。涼乃君と、家が近かった為、一緒に食べにも行きました。

僕は、始めの頃お腹いっぱいと言う英語が知らなかった為、ホストファミリーに「沢山ご飯を食べて！」と、言われても断れず沢山食べるようになりました。その為、留学前半は、太っていました。しかし、後半は、便秘したり、お腹こわしたりしたので行く前より痩せてしまいました。マレーシアの米は日本の米とは全くちがう、タイ米を使用していました。始めの頃は我慢しながら食べていました。しかし、徐々に慣れ沢山食べるようになりました。

マレーシアを回った中で1番楽しかった場所は、ペナンにあるESCAPEという所です。そこでは木登りや空中ブランコ、クライミングなどをしました。木登りでは記録を更新したので、景品として、ココナッツジュースをもらいました。日本ではこんな景品はないので嬉しかったです。



しかし、ココナッツジュースは自分の口にあいませんでした。その他にも、沢山のアスレチックを経験する事ができてとても良かったです。それと、キャメロンハイランドにある高校のインドクラスの卒業パーティーにも参加しました。そこはインドクラスなのに、タミル語を学ぶために、中国人や、マレーシア人もいました。卒業パーティーでは、ビンゴ大会をしたり、有志で出し物をしたりしていました。インドのホリーフェスティバルにも参加しました。ホリーフェスティバルとは、ターメリックの粉に水を少し混ぜ、それを掛け合う祭りです。とても楽しかったけど、目に入ったので痛かったです。洋服についたターメリックは何回か洗わないと落ちませんでした。

この留学をとうして他国の人と、コミュニケーションをとったりする事で僕は、留学前より積極的になったし、人



としても、1回りも2回りも大きくなりました。マレーシアに留学した事で、他の国も見たいなと思うようになりました。この留学経験を生かして日本でも頑張りたいと思います。この機会を与えてくれたライオンズクラブの皆さん 1ヶ月面倒を見てくれたホストファミリーのチャンさん、お世話してくれたトニーさん、マレーシアで一緒に助け合った涼乃君に、大変感謝しています。

本当にありがとうございました。

(原文記載)



派遣国 マレーシア

『充実の海外派遣体験に感謝！』

YCE派遣学生 安里 諒乃
(スポンサーC/浦添てだこLC)

今回、ライオンズクラブのYCEの派遣で夏休み期間を利用してマレーシアに行って来ました。

マレーシアでの生活は、私にとってとても良い経験になりました。初めての海外だったので、知らない事がいっぱいあり『自分の英語がはたして通じるだろうか?』という不安もありました。それと、税関とかでは、心臓がバクバクで凄く緊張しました。

私のホームステイ先は、マレーシアの首都クアラルンプールから約3~4時間かかるキャメロンハイランドという所でした。そこは、日本でいう軽井沢のような所で標高が高く、気温が低く、ちょうど沖縄の冬のような気温でした。避暑地ということもあり、観光客もたくさんいました。観光客の人達は、山をハイキングする人も多く、気温が低く一定という事もあり、ティーの生産が盛んで、その広さは眼を見張る程でした。ティーの生産は、山の傾斜などを上手く活用しており、それを収穫した後は、すぐに加工できるようシステム化されていました。今回その工程なども見せていただき、驚きの連続でした。英語で説明していたので、わからない部分もありましたが、聞き取れた部分もあったので良かったです。キャメロンハイランドは、中国人、マレーシア人、インディアンがいて、その人達は、マレーシア語と中国語と英語の3ヶ国語喋れてとてもびっくりしました。それと、キャメロンハイランドは、元は第二次大戦の時に怪我した人を手当てする場所だったそうで、今もその名残りが残っていました。

今回のホームステイは、いろんな方々の協力のもと成り立っており、私1人の力では到底やれるものでは無いと感じました。1人だと心細かったし、わからない単語とかあったので意味がわからなかったのも多々ありましたが、たつのすけ君や熊本にいるきょうせい君などに色々、助けてもらいクリアしていきました。ホームステイ期間には、少しの自由時間などもあり、その時にたつのすけ君と一緒にバスケットしたり、買い物をしたりしました。新しい友人もでき、この1ヶ月間はとても心強くそして有意義でした。マレーシアは、日本よりも物価が安く、日本では高くても買えないものが安く買えたりしました(本物かどうかは、知らないのですが)。

ホームステイ先の方は、とても優しく親切な方々でした。色々気遣っていただいたお陰で、1ヶ月間何事もなく無事過ごせたのですが、少し気がかりなのが私の英語力の無さで、言いたい事が上手く伝えられず、歯がゆい気持ちもあります。なので、次回海外へ行く時は、今よりも英語を上達させて、普通の会話は難なく出来るぐらいにしていきたいです。私が英語をあまり上手く喋れないために、ホームステイ先の方に迷惑をかけてしまった部分も多々あると思いますので、いつか恩返しが出来たらいいなと思っています。

ホームステイ期間中には、キャメロンハイランドのレオクラブ達の方々とマレーシアの遊びや日本の遊びのなどをして遊びました。沖縄と少し似てるものとかもあったり、全く別物の遊びもありました。他にもレオクラブの方達とは、山をハイキングしたり、朝日を見に行ったりもしました。その時に私は、沖縄の空手を披露しました。かなり緊張しましたが、沖縄の伝統文化の1つなので、誇りを持って演武し紹介できたのは、本当に良かったと思います。そして、レオクラブの方々との交流も、とても楽しかったです。

今回のホームステイを通して、私は日本の良い所やこんな部分は取り入れてみていいかな~など、そういった部分もみれました。今までとは違う角度で日本、沖縄を見れたので私自身としても視野が広がったように感じますし、今考えている悩み事が小さく見えて来ました。

今回ホームステイに派遣してくれたライオンズクラブや両親、ホームステイ先の方々、そして、たつのすけ君やきょうせい君には、とても感謝しています。また、こういう機会があれば是非行きたいです。そして、行きたいなあ~とお考えの方には是非行って欲しいと強く勧めたくなる程、充実した1ヶ月間でした。今回は、派遣させて頂いたので次回は、私達が受け入れて沖縄の事や日本の事を英語で伝えられるようにしたいです。

私をマレーシアに派遣してくださり、本当にありがとうございます。心より感謝申し上げます。

以上で、私のホームステイ先での報告と感想を終わります。

ありがとうございました。

(原文記載)





レオクラブ活動報告

国際協会は、1967年青少年の指導育成のため全世界一貫した目的と意義をもつ活動を展開しようと、レオクラブの結成を承認致しました。地域社会の青少年に指導力(Leadership)、経験(Experience)および、機会(Opportunity)を与え個性豊かな人間に成長させるための奉仕活動を推進することを目的とし、その3つの頭文字を旗印に各クラブがそれぞれ特徴ある活動を展開し、現在世界においては143ヵ国6,739クラブ168,475名、日本においては142クラブ4,300名以上、地区(鹿児島・沖縄)においては15クラブ458名が活動しております。

■久木田学園 LEO.C (スポンサーC: 鹿児島さつま LC) / 特別養護老人施設訪問(8月1日/27名参加)



久木田学園レオC27名で、特別養護老人施設を訪問。医療奉仕を中心に幅広く活動。

■慈恵学園 LEO.C (スポンサーC: 川内よさこい LC) / 一之宮神社早朝清掃(8月9日/児童11名・職員2名参加)



神社の清掃活動を早朝から行いました。今回は天候も良く、ほとんどの児童が参加ができました。階段を掃いたり、草を抜いたり分担しながら作業をしました。時間いっぱいみんな一生懸命頑張っていました。(8月9日)

R	(クラブ名)	(主な活動内容)	10月末 会員数	R	(クラブ名)	(主な活動内容)	10月末 会員数
■ 鹿 児 島 R	さくらじまレオC (SP.C/鹿児島LC)	地域清掃活動。献血活動。 ランニング桜島応援。	17	■ 沖 縄 R	霧島レオC (SP.C/霧島LC)	(活動休止中)	—
	種子島レオC (SP.C/種子島LC)	種子島サンセット車イスマラソンボラン ティア。EM団子河川への投入。	34		鹿屋レオC (SP.C/鹿屋LC)	献血キャンペーン協力。募金活動。	9
	城山ひだまりレオC (SP.C/鹿児島城山LC)	養護学校生徒への学習支援他。	22		フライングレオC (SP.C/鹿屋第一LC)	募金活動。(歳末助け合いなど。)	20
	久木田学園レオC (SP.C/鹿児島さつまLC)	各種障害者スポーツ大会介助支 援。特別養護老人ホーム介護ボラン ティア。(定期的)	100		徳之島レオC (SP.C/徳之島LC)	清掃活動など。	21
	川内レオC (SP.C/川内LC)	ボランティアサークル主催。 清掃活動。	9		奄美高校レオC (SP.C/名瀬LC)	スポンサーCとの協働作業	87
	慈恵学園レオC (SP.C/川内よさこい C)	地域清掃活動他。	20		沖永良部レオC (SP.C/沖永良部LC)	地域への環境保全活動実施。	51
	国分隼人レオC (SP.C/国分隼人LC)	幼児サッカー大会献血キャンペーン。 登山清掃。老人ホーム慰問。	26	■ 沖 縄 R	沖縄レオC (SP.C/沖縄LC)	(活動休止中)	—
	第一幼児教育短期大学レオC (SP.C/国分隼人LC)	清掃活動など。	42	地 区 計 (15C)			458(名)

鹿児島R. アクティビティ（活動）報告

（ライオンズクラブは、地域社会への身近な奉仕活動と国際的奉仕活動を行っています。）

【■鹿児島R. 2 Z／鹿児島南洲LC】

結成 55 周年事業「熊本地震復興支援」青少年健全育成チャリティ音楽ショー(会員:40 名参加)



（招待者100名、総勢550名の参加者の皆様）



（内木会長より挨拶とチャリティー目録の贈呈）



（子供たちに大人気の薩摩剣士隼人＆ロディー音楽ショー）



（8月19日 鹿児島水族館 いわワールド見学は、大勢の参加者で賑わった。）



（8月19日 霧島 さくらさくら温泉:昼食＆入浴）

8月18日(木)桜島フェリー 納涼船 錦江湾クルーズ 会員40名 招待者100名 外、報道・一般乗船客

熊本地震で被災した熊本県御船町の小中学生と保護者一同45名、御船LCの皆様を桜島の納涼観光船1泊2日で鹿児島市観光(夏休みの観光旅)にお招きした。又、薩摩剣士隼人とロディーの音楽ショーを企画して交通被災者たすけあい協会の50名の子供たちへ寄付金を贈呈し、一緒に楽しんだ。夕暮れの雄大な桜島とキャラクターショー、水中花火、歓声を上げて喜び夏休みの思い出になりましたと「笑顔！！」結成55周年記念事業と震災支援活動を目的に企画、御船LC会員と交流、一般乗船客550名と支援の輪を広げ真夏の夜を満喫した。これからも姉妹クラブとしての友好活動と、熊本地震復興支援活動を続けて行きたい。

【■鹿児島R. 3 Z／鹿児島谷山LC】

護国神社周辺清掃(会員:23名参加)愛の聖母園との夏祭り交流会(会員:26名参加)



鹿児島市観光月間奉仕作業(グリーンシティ鹿児島)の日にあわせて、慈眼寺公園そばの護国神社周辺の清掃作業を行いました。

(8月7日)

愛の聖母園との夏祭り交流会を今年も開催致しました。焼きそば、かき氷、フライドポテト、綿菓子等の食事や花火を準備致しました。今年で交流をはじめて22年目となります。青少年健全育成の為、今後も続けていきたいと思っております。

(8月26日)

【■鹿児島R. 3 Z／鹿児島さつまLC】

天保山公園「共月亭」周辺清掃(会員:32名参加)



鹿児島市観光地清掃の日に天保山公園「共月亭」周辺を清掃しました。気持ちの良い汗を流しました。

(8月7日)

【鹿児島R.5Z/串木野LC】

第26回ライオンズ献血(会員:48名参加)

【鹿児島R.5Z/川内よさこいLC】

愛の献血運動inひわき(会員:8名参加)



いちき串木野市市民文化センターにてライオンズ献血を実施しました。
(9月8日)



献血バスが半年ぶりに「樋脇町」にやってきた。台風16号の影響を心配していたが、当日は秋晴れのいいお天気に恵まれた。52名の方々に、足を運んでいただき39名の採血となった。健康であればだれでもできる「命のボランティア」一人でも多くの方にご協力をいただけるよう、日々活動していきたい。(9月21日)

【鹿児島R.5Z/川内LC】

薬物乱用防止啓発運動(会員:4名参加)/第1回廃品回収(会員:20名参加)/献血運動(会員:15名参加)



クラブ事業収入を兼ねての環境保全
(9月17日)
於:大平橋下

「ダメ・ゼッタイ。」
薬物乱用防止街頭キャンペーン(7月9日)
於:プラッセたいわ川内店

あなたの献血で、助かる命があります。
献血の方のみに限らず、受け付けて頂いた方へもクラブよりパン・ゴミ袋を配布(9月23日)
於:川内文化ホール



【鹿児島R.5Z/川内なでしこLC】

川内川花火大会清掃(会員:8名参加)/エコキャップ搬入(会員:2名参加)



前日の花火大会後の河川敷・堤防の清掃作業をしました。
(8月17日 AM6:00~7:00)



世界の子供たちにワクチンを提供する支援活動。
会員で集めたり活動を知っている方からの持ち込みによって集められたエコキャップを不定期で提供。六大感染症のワクチン代として寄付。(9月23日)

【鹿児島R.7Z/始良LC】

百周年記念「ことばのいずみコンクール」開催(会員:15名参加)



小・中・高校生によるスピーチコンクールを開催。「自分の考えを聴衆に訴える力を養成し、始良っこの自立を育む」を目的に応募作品 68 点の中から優秀作 11 点を選出された。
(10月16日)

鹿児島R. 10Z地区ガバナー公式訪問 2016年9月23日/於:大島郡徳之島町



喜禰ガバナーのお膝元である鹿児島R. 10Z. 7クラブ(瀬戸内LC・徳之島LC・名瀬LC・沖永良部LC・与論LC・喜界LC・笠利LC)の地区ガバナー公式訪問(合同例会)が9月23日徳之島において開催された。奄美群島初のガバナー誕生ということで歓迎ムード一色の中、公式訪問の全行程を終了した。

喜禰ガバナー考案のバナー(喜界島の北部をまっすくにのびるキビ畑の一本道をモチーフ)&ピンバッジ(「南の島の貴婦人」と呼ばれているオオゴマダラをモチーフ…蝶のごとく上品かつ優雅に。)が全76クラブ三役に贈られた。

ライオンズクエストが目指すもの

ライオンズクエストのライフスキル教育プログラムは青少年の健やかな成長と薬物乱用防止への願いからスタートし、総合的な内容に発展したプログラムです。家庭・学校・地域が連携し、安全で安心できる環境のもと、青少年が社会の一員として必要な“ライフスキル”を系統的に身につけることを目指しています。先生にとっては教えやすく、子供たちには楽しく学べることから、世界各国の学校で採用され、実施されています。



ライオンズクエスト WS 2016年8月15日～16日 与論町立与論中学校(校内型 WS/与論 LC 主催)



与論町立与論中学校においてライオンズクエストWSが開催された。
研究テーマ「～コミュニケーションスキルの向上と道徳教育の充実～」の取り組みの一環。段階的に全校導入へ繋げたい。
(与論LC主催)



ライオンズクエスト WS 2016年8月23日～24日 志布志市立志布志中学校(校内型 WS/志布志 LC 主催)



8月23・24日の2日間、志布志市役所志布志市所にて志布志LC主催でライオンズクエストWS(思春期のライフスキル教育)が開催されました。篠田康人講師にお越しいただき、志布志市の小中学校の先生方が受講されました。最後には修了証書が渡されました。



ライオンズクエスト WS 2016年8月25日～26日 鹿児島市立吉田南中学校(校内型 WS/鹿児島リバティ LC 主催)



お互いに協力してよい集団の雰囲気を作りライフスキルとその指導方法を学びました。教育の場で活用いただきたいと思います。



ライオンズクエスト WS 2016年8月29日～30日 日置市立吹上中学校(校内型 WS/吹上 LC 主催)



吹上LC初めてのWSでしたが、無事に行うことが出来、何よりホッとしております。今後も青少年健全育成に各方面と協力し、ライオンズクラブの活動として全力で取り組んでいきたいと思ひます。

【鹿児島R 創立百周年記念共同事業「ライオンズこども食堂」開催】

10月8日(世界ライオンズ奉仕デー)

鹿児島R. 共同アクティビティ基金を活用してのリジョン内全 55 クラブ共同事業として、子供の孤食や貧困に目を向けてもらおうと「ライオンズこども食堂」が、鹿児島中央駅近くのライオンズ公園において開催された。

当日は、子供たちへ食事(カレーライス・オムライス・おにぎり等々)が振る舞われ、ステージ上ではバンド演奏やキャラクターショーなど多くの子供たちで賑わった。

(会場内に設置された表示パネルでは各クラブの活動が広報され、各ゾーン内クラブからも産品が提供された。)



=写真提供/篠田 ZC=

沖縄R. アクティビティ (活動) 報告



ライオンズクエスト WS(校内型 WS/浦添 LC・浦添てだこ LC・浦添ウェスト LC 主催)
2016 年 8 月 9 日～10 日 浦添市小中学校/8 月 12 日～13 日 伊平屋小中学校



浦添市内3クラブ合同でスキルアップワークショップの開催にあたり、浦添市では23名、伊平屋では40名の受講者で活発な意見交換が行われました。

【沖縄R. 3 Z / 沖縄 LC】 献血推進キャンペーン (会員: 14名参加)



今年度1回目の献血推進キャンペーン。街頭でチラシを配り、献血協力をお願いをした。

(8月19日 於:サンエー那覇メインプレス)

【Lions Club】 沖縄R. 1・2・3 Z地区ガバナー公式訪問 2016 年 9 月 14 日～16 日/於:沖縄県



9 月 14 日スタートした沖縄R. 地区ガバナー公式訪問(合同例会)は 16 日までの3日間、全 21 クラブ多数の会員の皆様激励の中喜禎ガバナーの方針等が伝達され盛会裏に終了した。